

虐待防止のための指針

1 横浜相原病院・併設事業所における虐待防止に関する基本的な考え方

虐待は人権侵害であり、犯罪行為という認識のもと、患者様及び利用者様の尊厳の保持・人格の尊重を重視し、権利利益の擁護に資することを目的に、虐待の防止とともに虐待の早期発見・早期対応に努め、虐待に該当する次の行為のいずれも行いません。

2 虐待の定義

- ① 身体的虐待
- ② 性的虐待
- ③ 心理的虐待
- ④ 放棄・放置
- ⑤ 経済的虐待

3 虐待防止委員会その他病院内の組織に関する事項

① 虐待防止委員会の設置及び開催

虐待発生防止に努める観点から虐待防止委員会(以下、「委員会」という。)を設置します。委員会は、月1回開催し、次のことを協議します。

- ・虐待の防止のための指針の整備に関すること
- ・虐待の防止のための職員研修の内容に関すること
- ・虐待等について、職員が相談・報告できる体制整備に関すること
- ・職員が虐待等を把握した場合に、横浜市への通報が迅速かつ適切に行われるための方法に関すること
- ・虐待等が発生した場合、その発生原因等の分析から得られる再発の確実な防止策に関すること
- ・再発の防止策を講じた際に、その効果についての評価に関すること

② 委員会の構成メンバー

委員会の運営責任者は病院長とし、構成メンバーは職員から委員会の設置趣旨に照らして必要と認められる者を選出し構成します。

③ 行動制限最小化委員会や関係する職種、取り扱う事項が相互に関係が深い場合には、他の会議と一体的に行う場合があります。

4 虐待の防止のための職員研修に関する基本方針

虐待防止のための職員研修を原則年1回実施します。

研修内容は、虐待等の防止に関する基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するものであるとともに、本指針に基づき、権利擁護及び虐待防止を徹底します。

5 病院・併設事業所内で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針

① 職員等が、患者様及び利用者様への虐待を発見した場合、各所属長もしくは虐待防止委員会、更には、行政機関の担当窓口へ報告します。

- ② 各所属長もしくは虐待防止委員会は相談や報告があった場合には、報告者の権利が不当に侵害されないよう注意を払い、虐待等を行った当人に事実確認を行い、必要に応じ、関係者から事情を確認します。
- ③ 事実確認の結果、虐待等の事象が事実であると確認された場合には、当人に対応の改善を求め、就業規則等にのっとり必要な措置を講じます。
- ④ 上記の対応を行ったにもかかわらず善処されない場合や緊急性が高いと判断される場合は、横浜市の窓口等外部機関に相談します。
- ⑤ 事実確認を行った内容や虐待等が発生した経緯を踏まえ、委員会において、当該事案がなぜ発生したか検証し、原因の除去と再発防止策を作成し、職員に周知します。
- ⑥ 虐待等の発生後、再発が想定されない場合であっても、事実確認の概要及び再発防止策を横浜市の行政機関に報告します。

6 虐待発生時の対応に関する基本方針

虐待等が発生した場合には、速やかに横浜市に報告するとともに、その要因の除去に努めます。客観的な事実確認の結果、虐待者が職員等であったことが判明した場合には、役職位の如何を問わず、厳正に対処します。また、緊急性の高い事案の場合には、横浜市及び警察等の協力を仰ぎ、被虐待者の権利と生命の保全を優先します。

7 成年後見制度の利用支援に関する事項

患者様及び利用者様又はご家族に対して、必要に応じて利用可能な成年後見制度について説明し、求めに応じ、適切な窓口を案内する等の支援を行います。

8 虐待等に係る苦情解決方法に関する事項

- ① 虐待等の苦情相談については、苦情受付担当者は、寄せられた内容について各所属長もしくは虐待防止委員会に報告します。当該責任者が虐待等を行った者である場合には、他の上席者に相談します。
- ② 苦情相談窓口に寄せられた内容は、相談者の個人情報の取り扱いに留意し、当該者に不利益が生じないように、細心の注意を払います。
- ③ 対応の流れは、上述の「5 病院・併設事業所内で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針」に依るものとします。
- ④ 苦情相談窓口に寄せられた内容は、相談者にその顛末と対応を報告します。

9 患者様・利用者様等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、患者様や利用者様、ご家族等が自由に閲覧できるように、病院・事業所内に常設します。また、病院ホームページにも公開します。

10 その他虐待防止の推進のために必要な基本方針

「4 虐待防止のための職員研修に関する基本方針」に定める研修のほか、外部機関により提供される虐待防止に関する研修等には積極的に参画し、患者様・利用者様の権利擁護とサービスの質を低下させないように常に研鑽を図ります。